# 第2回小山田歴史講演会

# 鎌井松石の人と業績

日時 場所

11月 6日(金) 14時~16時 小山田地区市民センター 2階 大会議室 四日市市博物館 学芸員 廣瀬 毅氏

講師

## • • 講演内容 • •

#### I. 北伊勢の本草学の歩み

- ・四日市発祥の漢方薬が多い。
- ・北伊勢は本草学が進んでいた。
- ・明治になり洋学が入り変化。

#### Ⅱ。鎌井松石の人となり

- ・漢画名家として著明。
- ・本草学者として全国の博物学者 との交流(交友会)など
- ・小山田地区での医業、教育活動

### Ⅱ.役職および著書

- 墺国博覧会県管下諸物品取集御用取扱
- •管内地誌取調巡回、
- •上等御雇(租税課勧業掛)
- 内国勧業博覧会御用掛 など
- 「本草正譌」32冊 (文部省 献納本)
- 「三重管内博物誌」16冊(文部省 献納本)
- 「三重本草稿」 45巻 「三重古事記稿」 6巻
- 「三重本草附録」21冊
- 「三重本草博物地誌」 50冊

(上記4点は四日市市博物館へ寄贈)



講演会場スナップ



三重本草稿のマムシグサ



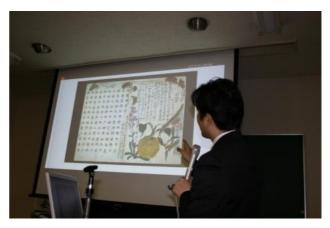
鵜森神社の俵藤太の兜

#### IV. 講演会の感想

廣瀬先生の分り易いお話と、40数名の 熱心な参加者により、充実した1時間半の講演を 無事終了した。

松石の書籍には、体裁に拘らず空白あれば、 メモ書きや動植物の絵図がびっしりと書き込ま れいることから、思いのままに自然の中に入り、 観察し絵を描く生活を送っていたことが分かり、 我々高齢者も改めて人生を見直す刺激になった。

質疑の中では、ご子息の留之助の話や、西山町へ の移住逸話など紹介され、楽しいひと時であった。



目次の頁に セミの殻やミカンの絵がある。